

# 2013年3月期第2四半期 決算説明会

2012年11月28日

本州化学工業株式会社

(証券コード:4115)

# 目 次

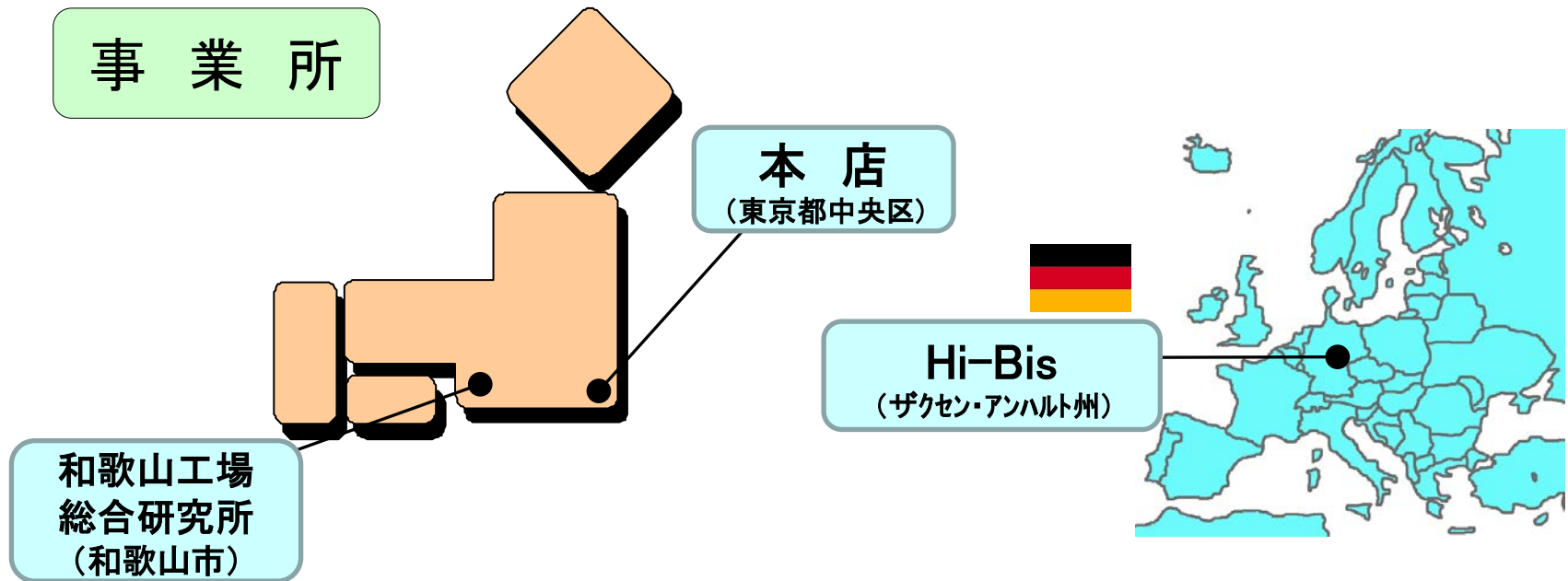
1. 当社の特徴
2. 2013年3月期第2四半期実績
3. 2013年3月期業績通期見通し
4. トピックス

# 1. 当社の特徴

# 本州化学工業の紹介

創 業	1914年(大正3年)11月
資 本 金	15億50万円
発行済株式数	1150万株(東京証券取引所第2部上場)
主 要 株 主	三井物産(株) 26.98%(1953年資本参加) 三井化学(株) 26.98%(1968年資本参加)

## 事業所



# 本州化学工業のコア事業

コア事業  
選定基準

- ①成長する市場がある
- ②独自技術が活用できる
- ③世界または日本において高いマーケットシェアを有している

末端市場



半導体など



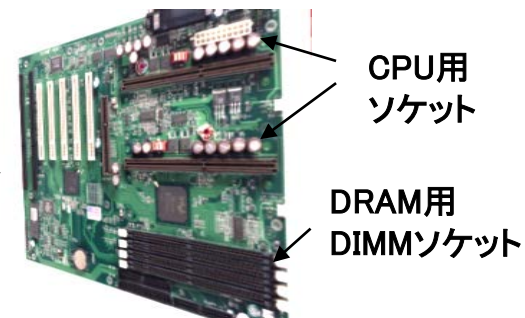
家畜飼料添加剤など

フォトレジスト材料

ビタミンE原料

ビフェノール  
液晶ポリマーなどのモノマー

数多くの  
SMT部品



パソコン等の電子部品(コネクター、リレー他)

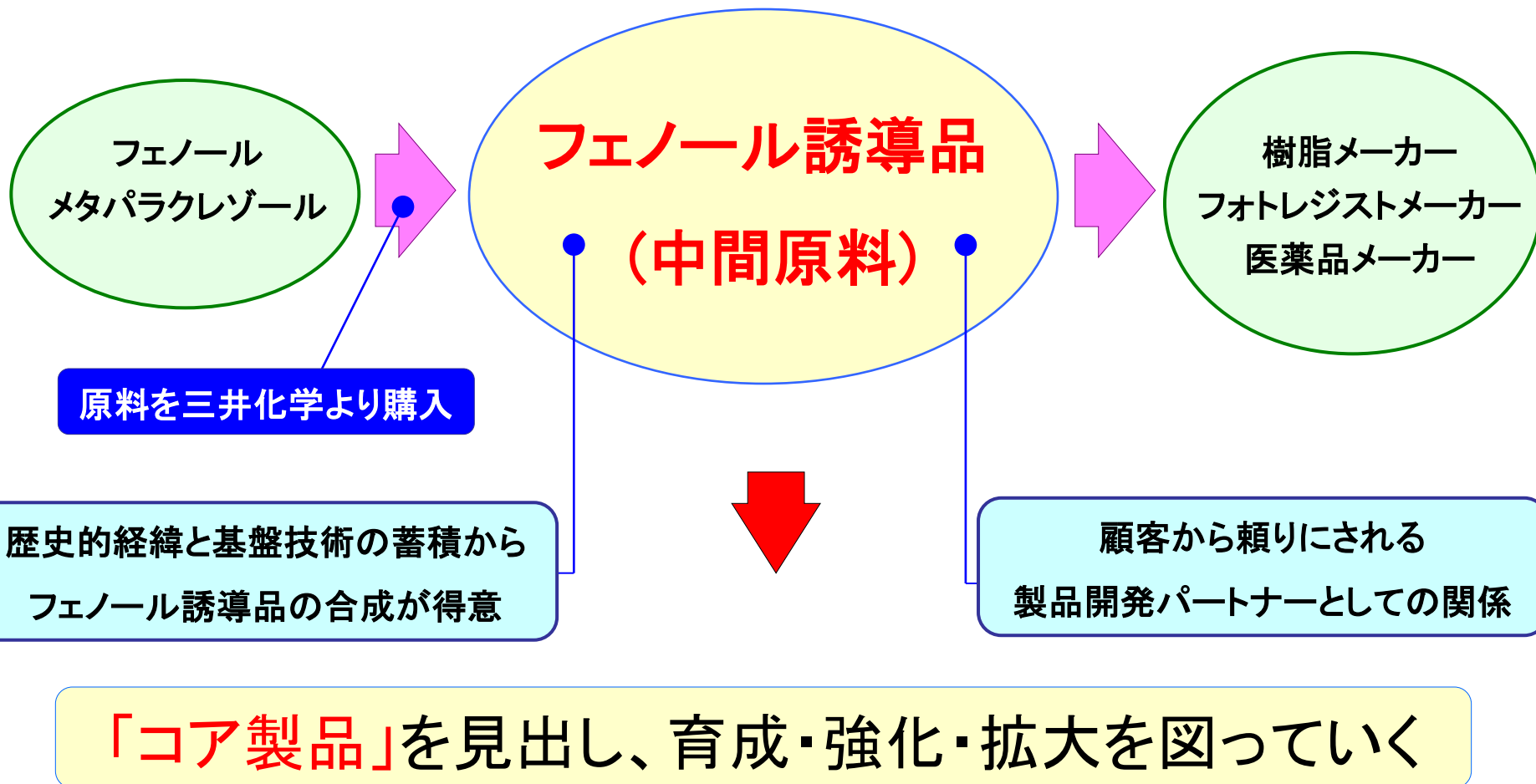
メタ  
パラクレゾール  
フェノール  
誘導品技術

# フェノール誘導品に特化

石油化学メーカー

当 社

顧 客



# フェノール誘導品事業の展開

- 1914年11月 会社設立(由良精工合資会社)
- 1915年 2月 合成フェノールの製造開始
- 1961年 3月 ビスフェノールAの製造開始
- 1971年 1月 トリメチルフェノール(ビタミンE原料)の製造開始
- 1988年 4月 ビスフェノールA事業を旧・三井石油化学工業(株)に譲渡
- 1990年 6月 フォトレジスト材料の製造開始
- 1991年 3月 ビフェノールの製造開始
- 2004年12月 Hi-Bis社(特殊ビスフェノール)の営業開始
- 2008年 2月 ビスフェノールF製造設備増設
- 2009年 1月 精製BHT(酸化防止剤)事業の開始
- 2012年10月 Hi-Bis社 増強プラント建設工事開始(5,000<sup>t</sup>増強)

## 2. 2013年3月期 第2四半期実績



# 2013年3月期第2四半期 連結業績

<単位:百万円>

	2013年3月期 第2四半期 (12/4-12/9)	2012年3月期 第2四半期 (11/4-11/9)	対前年同期比
売上高	7,769	8,497	▲728 (▲8.6%)
営業利益	391	1,044	▲652 (▲62.5%)
経常利益	385	1,029	▲643 (▲62.5%)
四半期純利益	173	612	▲438 (▲71.6%)

# 2013年3月期第2四半期事業概況【全般】

▶ 薄型テレビやパソコン等の需要減退による  
IT関連機器・デジタル家電分野での生産調整

⇒ フォトリジスト材料、ビフェノールの販売減少

▶ 三井化学の爆発火災事故(4月22日)による  
メタパラクレゾールの供給停止に伴う影響

⇒ ① トリメチルフェノールなどクレゾール誘導品の生産・販売面  
での制約

② 工場操業率の低下による固定費負担の増加

# 売上高構成比

<単位:百万円>

工業材料事業

2,529  
(32.5%)

特殊ビスフェノール※  
受託品

※主にHi-Bis GmbH社にて生産・販売

化学品事業

3,439  
(44.3%)

クレゾール誘導品  
(トリメチルフェノール・BHT等)  
ビスフェノール  
ビスフェノールF など

機能材料事業

フォトレジスト材料  
特殊ビスフェノール  
感光性ポリイミド材料  
開発品 など

1,733  
(22.3%)

売上高  
7,769百万円

# ★化学品事業概況

＜単位：百万円＞

	2013年3月期 第2四半期 (12/4-12/9)	2012年3月期 第2四半期 (11/4-11/9)	対前年同期比
売上高	3,439	3,974	▲ 535
営業利益	▲ 116	155	▲ 272

主要製品	販売状況
トリメチルフェノール	大幅な減販 【要因】①ユーザーサイドでの在庫・出荷調整による需要減少 ②メタパラクレゾールの供給停止による販売活動の制約
ビフェノール	大幅な減販 【要因】ユーザーサイドでの生産・在庫調整による需要減少
ビスフェノールF	減販 【要因】前年同期においては震災対応による支援により販売増

# ★機能材料事業概況

<単位:百万円>

	2013年3月期 第2四半期 (12/4-12/9)	2012年3月期 第2四半期 (11/4-11/9)	対前年同期比
売上高	1,733	2,102	▲ 368
営業利益	403	712	▲ 308

主要製品	販売状況
フォトレジスト材料	減販(半導体・LCD用とも) 【要因】ユーザーサイドでの生産・在庫調整※による需要減少 ※三井化学の事故による影響(原料ノボラック樹脂の調達難)による生産調整を含む。
特殊ビスフェノール	減販 【要因】一部ユーザーへの出荷時期が下期以降にスライド (光学・電子部品用途向けの需要は堅調に推移)
感光性ポリイミド材料	大幅な減販 【要因】世代交代の影響等

# ★工業材料事業概況

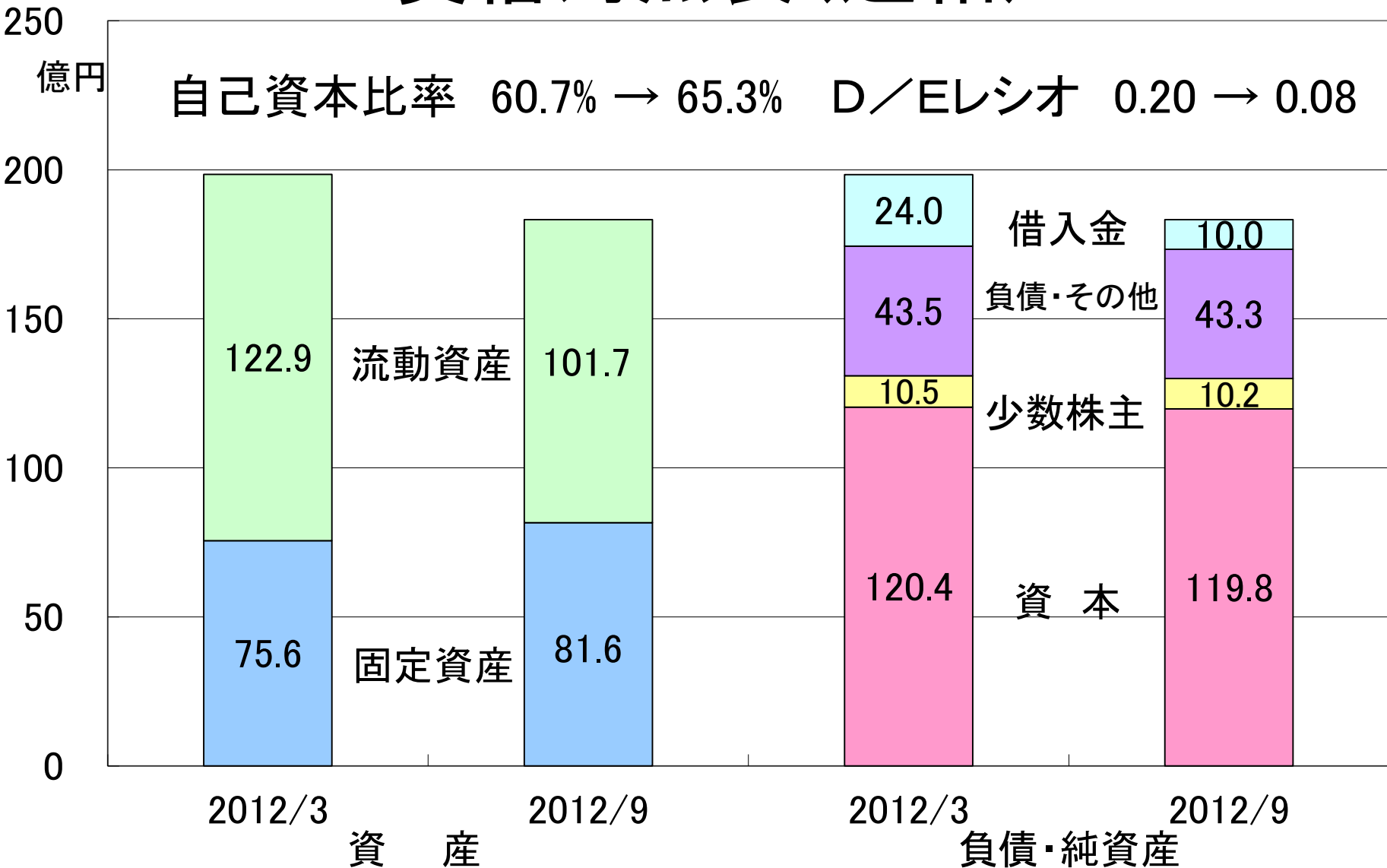
<単位:百万円>

	2013年3月期 第2四半期 (12/4-12/9)	2012年3月期 第2四半期 (11/4-11/9)	対前年同期比
売上高	2,529	2,342	187
営業利益	308	399	▲ 91

主要製品	販売状況
特殊ビスフェノール	大幅な増販 【要因】特殊ポリカーボネート原料(自動車用部品向け)として、引き続き旺盛な需要
受託品	増販 【要因】受託数量の増加

# 貸借対照表(連結)

自己資本比率 60.7% → 65.3%    D/Eレシオ 0.20 → 0.08



# キャッシュフロー(連結)

<単位:百万円>

	2013年3月期 第2四半期 (12/4-12/9)	2012年3月期 第2四半期 (11/4-11/9)	前年同期比
営業活動	1,765	1,058	+706
投資活動	▲1,656	▲277	▲1,379
(フリーキャッシュ・フロー)	(108)	(781)	▲672
財務活動	▲1,514	▲114	*▲1,400
その他	▲82	▲36	▲45
現金預金増減	▲1,488	629	▲2,118
期末有利子負債	1,000	2,400	▲1,400

\*長期借入金14億円の返済



3.

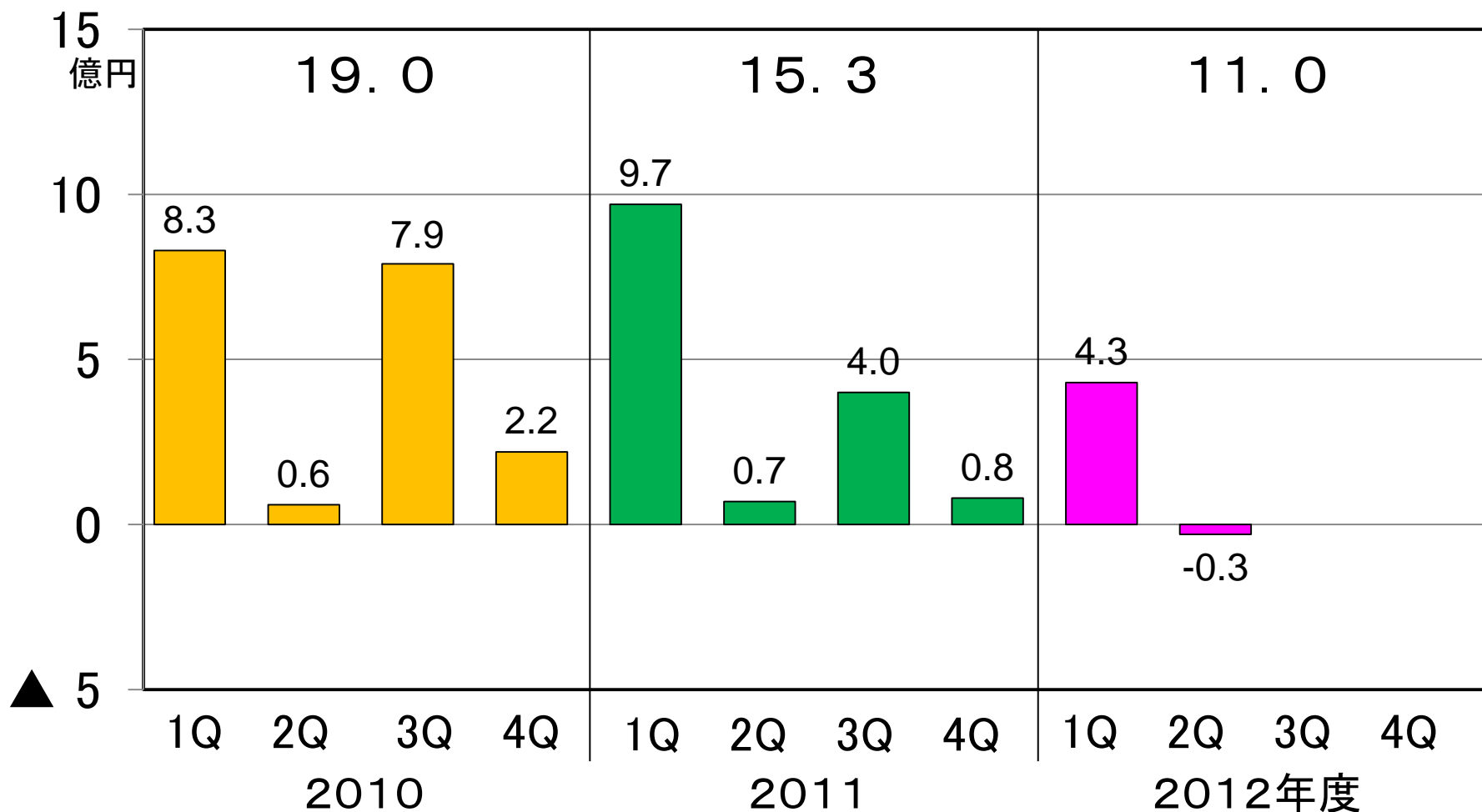
## 2013年3月期業績 通期見通し

# 2013年3月期 連結業績通期見通し

〈単位:億円〉

	2013年3月期	2012年3月期	対前期比
売上高	160.0	163.3	▲3.3
営業利益	11.0	15.3	▲4.3
経常利益	10.5	14.9	▲4.4
当期純利益	5.7	7.6	▲1.9

# 四半期別営業利益推移(連結)



# 2012年度下期事業概況及び基本方針

事業概況	
市場状況	<ul style="list-style-type: none"><li>◆世界経済の減速・米国の「財政の崖」問題・日中関係の悪化により需要が減速</li><li>◆国内補助金等の政策効果がストップ、国内自動車・電機産業の収益悪化</li><li>◆円高の継続、輸出減速と輸入品の競争力増大</li></ul>
当社状況	<ul style="list-style-type: none"><li>◆化学品、機能材料両事業部とも売上高ダウン 販売数量の拡大を努力中</li><li>◆特殊ビスフェノールの供給量拡大の要請は継続中</li></ul>

## 予算達成のための課題

1. 安全・安定運転の確保
2. コスト競争力の確保
3. 事業課題の挑戦的対応策の策定と実行
4. 既存製品の新規用途開発と新製品開発の加速
5. 特殊ビスフェノール事業の拡大対応

# 4. トピックス

# 1.Hi-Bis社 増強プラント建設着工

- Hi-Bis社(ハイビス社)で特殊ビスフェノールプラント増強工事の起工式を行いました。  
(2012年10月1日)



## ★増強工事概要★

- 【生産能力】 5,000トン／年  
(増強後の生産能力は10,000トン／年)  
【投資金額】 約5000万ユーロ  
【着工】 2012年10月1日  
【完工】 2014年3月予定  
【営業運転】 2014年7月開始予定



既存プラント

## 2.メタパラクレゾールの状況

三井化学では、9月下旬からメタパラクレゾールの供給を再開したが、今後供給量での制約や調達価格の上昇が予想される。

※メタパラクレゾールの原料であるサイメンの製造設備の復旧までにはなお時間を要するため、同社市原工場において代替生産のうえ岩国大竹工場に移送する。

# ＜お問合せ先＞

本州化学工業株式会社 人事総務部

TEL:03-3272-1481 / FAX:03-3272-1480

E-mail: [ir@honshuchemical.co.jp](mailto:ir@honshuchemical.co.jp)

本資料における将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用下さい。